



## 2020年 受動喫煙のない社会を目指し、 霊長類最強吉田沙保里さんが巨大たばこに挑む!

5月31日(水)、厚生労働省主催(結核予防会が所属するたばこと健康問題NGO協議会共催)の「世界禁煙デー記念イベント(マスコミ向け)」がベクトルスタジオ(港区)で開催された。厚生労働省健康局長の福島靖正氏が、非喫煙者が8割を超える今、受動喫煙の害を広く正しく知ることによって受動喫煙防止対策の徹底を目指し、広く国民に協力をお願いしたいと挨拶した。続いてタバコ陳列販売の意識調査結果(国立がん研究センター)が報告された。いきいき健康大使の平原綾香さん、今年度のスマート・ライフ・プロジェクトのメインキャラクターの吉田沙保里さんを交え、トークディスカッションが行われた。



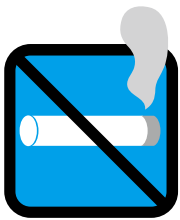
挨拶する福島健康局長



巨大たばこにタックルする吉田さんと応援する平原さん

途中で、元サッカー女子日本代表の澤穂希さんのインタビュー映像が流れ、彼女は自身の妊娠・出産の経験から受動喫煙は「怖い」と話し、子どもたちの未来のために受動喫煙のない社会をめざそうと呼び掛けた。平原さんは、受動喫煙のない、世界に誇れる日本にしていきたい、吉田さんは自身のぜんそく症状がたばこでひどくなることもあり、受動喫煙について子どもたちに影響があるので周りの喫煙者にも伝えたいと話した。最後に、巨大たばこに高速タックルした吉田さんは、「たばこをやっつけられてよかった。今のタックルは100点です」と元気よく答えた。🐼

(普及広報課)



## 第5回健康日本21(第二次)実現セミナー 行政担当者向喫煙対策WEBシンポジウム

ファイザー株式会社と結核予防会の共催で、行政担当者を対象としたセミナーがファイザー本社および全国の75拠点、ならびにインターネットでの配信を含め、6月20日(火)に開催され、約150名の参加を得た。

今回は、冒頭に厚生労働省健康局たばこ対策専門官の吉見逸郎氏が挨拶し、国の方向性や当日午前中に発表された厚労大臣の「受動喫煙防止対策の徹底に関する談話」を紹介した。また、地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターの中村正和氏を座長に迎え、青森県・神奈川県藤沢市・埼玉県行田市の取り組みについての講演があった。さらに特別講演として、

「健康増進法の改正による完全禁煙の必要性と得られる効果」と題し、産業医科大学教授の大和浩氏が発表し、パネルディスカッションが行われた。

健康増進法の改正は、秋の臨時国会に先延ばしされた格好にはなったが、塩崎大臣の談話をはじめ、マスコミ・一般の注目度は高く、引き続き受動喫煙防止に向けた取り組みを官民挙げて進めていかなければならないと参加者一同思いを新たにしているセミナーとなった。🐼

(普及広報課)